



平成29年10月27日

各位

上場会社名 麻生フォームクリート株式会社  
 代表者 代表取締役社長 花岡 浩一  
 (コード番号 1730)  
 問合せ先責任者 財務経理部長 植村 亮二  
 (TEL 044-422-2061)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月12日に公表しました平成30年3月期第2四半期累計期間および通期業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成30年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,370	55	52	34	9.96
今回修正予想(B)	2,007	△143	△143	△102	△30.17
増減額(B-A)	△363	△198	△195	△136	
増減率(%)	△15.3	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	1,879	△17	△15	△17	△5.03

平成30年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,700	140	146	95	27.83
今回修正予想(B)	4,410	△55	△47	△34	△9.96
増減額(B-A)	△290	△195	△193	△129	
増減率(%)	△6.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	3,984	129	143	148	43.53

修正の理由

平成30年3月期第2四半期(累計)の売上高につきましては、見込んでいた工事の発注遅れや、予定していた一部工事の施工時期のずれ込みなどにより、前回予想より減少し2,007百万円となる見込であります。

各段階の損益につきましては、受注価格競争が激しさを増し、また予想以上の労務費の上昇もあり利益率が低下したことや、地盤改良工事において施工不良が発生し、再施工に伴う工事原価が大幅に増加する見込みとなり、営業損失143百万円、経常損失143百万円、四半期純損失102百万円となる見込みであります。

平成30年3月期通期の売上高につきましては、気泡コンクリート工事において、今後遅れていた公共工事の発注が増加すると見込んでおりますが、工期や当社の施工体制を考慮した結果、売上高は前回予想より減少し4,410百万円となる見込みであります。

各段階の損益につきましても、受注価格競争による利益率の低下や前述の地盤改良工事の再施工コストの負担が大きくなり、営業損失55百万円、経常損失47百万円、当期純損失34百万円となる見込みであります。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は、様々な要素により記載の予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

以上